

板柳町立板柳中学校  
改築基本計画

平成28年10月  
板柳町教育委員会

## 第1 板柳中学校改築に関する概要

当中学校は、昭和42年に旧耐震基準で建築され、建築後49年経過し老朽化が著しく、平成27年度に実施した耐力度調査の結果、改築の必要性が認められていることから改築を行うものである。

このことから、当中学校は平成28年度から平成29年度末までに基本設計及び実施設計、平成30年度から本校舎の建設開始、平成32年度に既存施設解体というスケジュールで改築を進める。

【板柳中学校改築計画】

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
基本設計 実施設計		←————→		
本校舎建設工事			←————→	
既存校舎等 解体撤去			←————→	

	H32年度			
基本設計 実施設計				
本校舎建設工事				
既存校舎等 解体撤去	←————→			

## 第2 板柳中学校の現況

### 1. 学校の現況

(1) 所在地 北津軽郡板柳町大字三千石字五十嵐66-1、81-4、103

(2) 通学区域 板柳町全域

### (3) 生徒数

①生徒数・学級数（平成28年6月1日現在）

学 年	1 年	2 年	3 年	合 計
生徒数	88	147	107	342
学級数	3	4	3	10
特別支援生徒数	2	1	0	3
// 学級数	1	1	0	2

### ②推 計

年度		生徒数				学級数計
		1年	2年	3年	合計	
H28	普通	88	147	107	342	10
	特別支援	2	1	0	3	2
H29	普通	112	88	147	347	11
	特別支援	4	2	1	7	2
H30	普通	115	112	88	315	10
	特別支援	1	4	2	7	2
H31	普通	101	115	112	328	10
	特別支援	3	1	4	8	2
H32	普通	78	101	115	294	9
	特別支援	4	3	1	8	2

※平成28年度は、6月1日現在の実数。平成29年度以降は、管内小学校の児童数による推計値。

#### (4) 学校施設の概要

##### ① 敷地

面積	67,878㎡(内運動場 42,191㎡)
----	-----------------------

##### ② 建物

	校舎等	体育館
構造	RC(鉄筋コンクリート)造3階建、S(鉄骨)造、W(木)造	S(鉄骨)造
延床面積	7,122㎡	1,215㎡
建設年度	昭和42年度	平成22年度

##### ③ 教室数等

普通教室等	普通教室 10		
特別支援室	特別支援教室 2		
特別教室等	理科室 3	金工室 1	柔道室 1
	被服室 1	美術室 2	生徒会室 3
	調理室 1	視聴覚室 1	相談室 6
	音楽室 2	コンピュータ室 1	進路指導室 2
	音楽教材室 1	図書室 1	学習支援室 3
	木工室 1	多目的教室 1	教具室 2
管理室等	校長室 1	印刷室 1	保健室 1
	職員室 1	応接室 1	用務員室 1
	事務室 1	会議室 1	倉庫・物品庫等 4
	放送室 1		

##### ④ プール

構造	RC(鉄筋コンクリート)造
面積	827㎡
建設年度	平成9年度

### 第3 基本構想

#### (1) 高機能かつ多機能で変化に対応し得る弾力的な施設環境の整備

教育内容・教育方法等の変化などに対応して、多様な学習内容・学習形態やコンピュータその他の高度な教育機器の導入などを可能とする高機能かつ多機能な学習環境を確保する。

#### (2) 健康的かつ安全で豊かな施設環境の確保

生徒等の学習及び生活の場として、日照、採光、通風等に配慮した良好な環境を確保するとともに、障害のある生徒にも配慮しつつ、十分な防災性、防犯性など安全性を備えた安心感のある施設環境をめざす。

また、生徒がゆとりと潤いをもって学校生活を送ることができ、他者との関わりの中で豊かな人間性を育成することができるよう、生活の場として快適な教育環境を確保する。

#### (3) 地域の生涯学習やまちづくりの核としての施設の整備

地域住民にとって最も身近な公共施設として、まちづくりの核、生涯学習の場としての活用を一層積極的に推進する。

#### (4) 地域の防災拠点としての学校

校門等の出入口は、災害時に避難者や緊急車両が出入りしやすいよう、幅を広くするなどの工夫をし、災害時の周辺住民等の避難経路を確保する。

## 第4 基本計画

### 1. 学校規模

生徒数の推計を考慮して、平成30年度生徒数を基準とし315人(普通学級10学級)、特別支援生徒数7人(特別支援学級2学級)を見込む。

建物延床面積は校舎・給食施設を含め、4,500㎡程度とする。

### 2. 施設の構成

#### (1) 校舎

※床面積は普通教室の規模を74㎡とした場合の数値。

区分	室名・スペース等	室数	1室規模	床面積 (㎡)	備考
普通教室	普通教室	10室	1教室	740	
特別支援室	特別支援教室	2室	1教室	148	
特別教室等	理科室	1室	1.5教室	111	
	理科準備室	1室	0.5教室	37	
	音楽室	1室	1.5教室	111	
	音楽準備室	1室	0.5教室	37	
	楽器庫	1室	0.5教室	37	
	美術室	1室	1.5教室	111	
	美術準備室	1室	0.5教室	37	
	技術室	1室	1.5教室	111	木工室・金工室
	技術準備室	1室	0.5教室	37	
	家庭科室	1室	1.5教室	111	被服室・調理室
	家庭科準備室	1室	0.5教室	37	
	学習情報室※	1室	4教室	280	
	生徒会室	1室	1.5教室	111	
	教育相談室	1室	1.5教室	111	
進路指導室	1室	0.5教室	37		

※学習情報室

「図書館」と「学習情報」という2つの機能を持たせ、生徒の主体的な学習活動の支援や、情報の収集・選択・活用能力を育成する等、学校教育の中核的な役割を果たす。

区 分	室名・スペース等	室 数	1 室規模	床面積 (㎡)	備 考
管理諸室等	校長室	1 室	1 教室	74	
	職員室	1 室	3 教室	222	
	事務室	1 室	0.5 教室	35	
	会議室	1 室	1.5 教室	111	
	放送室	1 室	0.5 教室	37	
	印刷室	1 室	0.5 教室	37	
	保健室	1 室	1 教室	74	
	職員更衣室	2 室	0.25 教室	37	
	倉庫・教材室	4 室	0.5 教室	148	
給食室	給食調理室	1 室	3 教室	222	
	調理員休憩室	1 室	0.5 教室	37	
共用部	昇降口 エントランス				
	トイレ				
	手洗い場・洗口所				
	廊下				
	多目的スペース				普通教室周辺に整備
	共用部 計			1,000	

延べ床面積合計 4,238㎡

### 3. 配置計画

(1) 既存体育施設の利用及び将来的な統合小学校の用地を確保するため、現校舎の前庭を建設予定地とする。

(2) 既存の校舎を活用しながら新校舎を建設する。

※期待される効果及び対応策

- ① 仮設費用（約2億円）の削減及び仮設工事期間（約6ヶ月）の短縮を図られる。
- ② 工事中、既存の給食施設の利用が可能である。
- ③ 建設前にスロープの解体及び前庭の松の伐採等が必要である。
- ④ 北棟西側に生徒用仮設玄関を仮設する。



※赤線枠は、建物形状ではなく配置スペースとなります。